

こまき市民文化財団情報誌

みんなで育てよう、こまきの文化

# こまびん

Autumn/Winter

秋冬

2019.11



こまきの秋冬。  
思い出が実る、

## 特集

インタビュー

山猫団(コンテンポラリーダンス)

インタビュー

やさしい美術

田縣神社 豊年祭

桂宮治 神田松之丞 二人会

謎の全方位型パフォーマンス集団、  
やまねこだん  
「山猫団」が小牧にやってくる!

# 劇場は、みんなまで つくるもの。



ダンサー  
長井 江里奈

美術  
ニシハラ☆ノリオ

さる10月16日、  
小牧市立篠岡中学校での  
アウトリーチを大好評のうちに  
終えたばかりの「山猫団」が、  
来年3月に小牧市市民会館で  
単独公演を開催します。  
『小さな牧のサーカス』と  
名づけられた  
この公演の準備を進める  
ダンサーの長井江里奈さんと  
美術担当のニシハラ☆ノリオさんに、  
お話をうかがいました。

のめりになって、「だったらこうした方がいいよ」「こういうのもいいんじゃない?」と、頼んでもいないのに次々といろんなアイデアを提案してくれました(笑)。もともと私は自分の発想だけでできることなんて限られていると思っていたので、だったら出演はもちろん、美術や音楽の制作、舞台監督、衣装、照明、音響まで、

——山猫団結成の経緯を教えてください。  
長井 実は私、こう見えても受け身な性格なので、自分からものごとをグイグイ押し進めるタイプじゃないですよ。山猫団も成り行きというか、親しい人に「そろそろ自分で何かやってみたら?」とお尻を叩かれたから始めたようなもので。結成した2003年は、ちょうど所属していたカンパニーが解散して、20代前半から途切れることがなかったダンスの仕事がいつべんに消滅したので、とにかく何かやるしかないです。  
——多彩なジャンルから制作者や技術者が集まっていますね。  
長井 「こんなことをやろうと思うんだけど」と相談した仲間がみんな「へえ、そうなんだ」と平静を装いながらもグツと前

た時期でした。時間を持って余っていたので、とにかく何かやるしかないです。  
——多彩なジャンルから制作者や技術者が集まっていますね。  
長井 「こんなことをやろうと思うんだけど」と相談した仲間がみんな「へえ、そうなんだ」と平静を装いながらもグツと前

「普段、劇場に足を運ぶことがない人たちに、劇場のワクワク感を味わってもらおう」、「主役はお客様さん+劇場そのもの」とそこを運営する人たち」というコンセプトによる、小牧のための新作公演。ここ小牧でしか味わえない、小牧だからこそ意味のある公演になること間違いなし!

## 小さな牧のサーカス



公演内容の一部をご紹介します!



小牧市市民会館で単独公演を開催!

全部を自分たちで完結できるチームにしよう。最初の公演の時にノリオさんがものすごい美術を作ってきたんですよ。それで「あ、これはうまくいくかも」と思いました。

ニシハラ 山猫団は、自分から発案したいメンバーばかりなんです。ここでの経験が個人の制作活動にフィードバックされることもたくさんあるし。それに、ひとりだと、発表の場や形態って限られるじゃないですか。でも山猫団だと、普段できないこともできてしまうから楽しいですね。

長井 「工具DJ」と名乗って舞台に出るわ、勝手に紙吹雪を降らせるわ、この人は本当にやりたい放題です(笑)。

ニシハラ 本番が始まって何かしら作っていて、終わる頃によく完成するという(笑)。そういうライブ感も、山猫団の公演の魅力だと思います。

長井 ある時、舞台監督さんに「そんなムリに決まってるだろ!」と怒られたことがあったんですけど、その時ノリオさんが「誰かにムリと言われるアイデアは、実現できれば絶対面白いモノになりますよ。だから絶対にやるべきです」と言ってくれたんです。これは今でも山猫団の指針になっています。

——ワークショップやアウトリーチに取り組むようになったきっかけを教えてください。

長井 ある方から声をかけていただき、

2015年に東京・福生の小学校で83人の4年生児童を相手にワークショップをやったのが最初です。子どもと噛み合うのが自信がなかったんですけど、最終日には打ち解けて、みんな「終わりたくないよ!」と別れを惜しむほどに(笑)。それでハマってしまっ、いまや山猫団のメインの活動になっています。

——長井さんにとって、一番の魅力はどこにあるのでしょうか?

長井 喜びや達成感を共有できる場所ですね。一方的な発信ではなく、相互のやり取りで空間やモノを作り上げていく。そこが一番の魅力です。

——最後に、小牧のみなさんにメッセージをお願いします。

長井 山猫団の公演は、私たち団員だけでなく、スタッフさんやイベントさん、そしてお客さんに協力していただいて初めて完成します。当日は、お客さんにも参加してもらえらる内容になると思います。「コンテポラリーダンス?なんか難しそう」という方こそ、ぜひ一度観にきてください!

## 「山猫団」とは?

ダンサーの長井江里奈を中心に、音楽家、絵描き、造形作家、照明家、音響、舞台監督、衣装作家、写真家で構成される舞台芸術団体。「どこかの誰か、ではなく、あなたのため」をテーマに、公演活動やワークショップ、アウトリーチなどを全国各地で展開している。

### ニシハラ☆ノリオ Norio Nishihara

山猫団美術担当。1995年より美術制作会社に、立体造形の制作に携わる。テレビ番組やイベントのカプリモノ、舞台オブジェなどを数多く手がけ、2004年より個人の作家活動を開始。2007年より、世界各地で展示会やワークショップを開催する。山猫団には2013年の結成当初から参加。団の世界観を形成する個性的な美術を制作するほか、パフォーマーとして舞台にも立っている。



©Nitta Sayaka

### 長井 江里奈 Erina Nagai

東京・吉祥寺生まれ。山猫団団長/ダンサー。ジャネット・ジャクソンに衝撃を受けて、高校でダンス部に入部。1993年に専門学校のダンス部に進学し、クラシックバレエ、ジャズダンス、ストリートダンスなどをひと通り習う中でモダンダンスに傾倒する。伊藤キム+輝く未来、まことクラブでの活動を経て、2011年よりソロ活動を開始。2013年、山猫団結成。

小牧公演への  
意気込みを  
語っていただき  
ました!



2020.3.7(土)

### 山猫団 『小さな牧のサーカス』

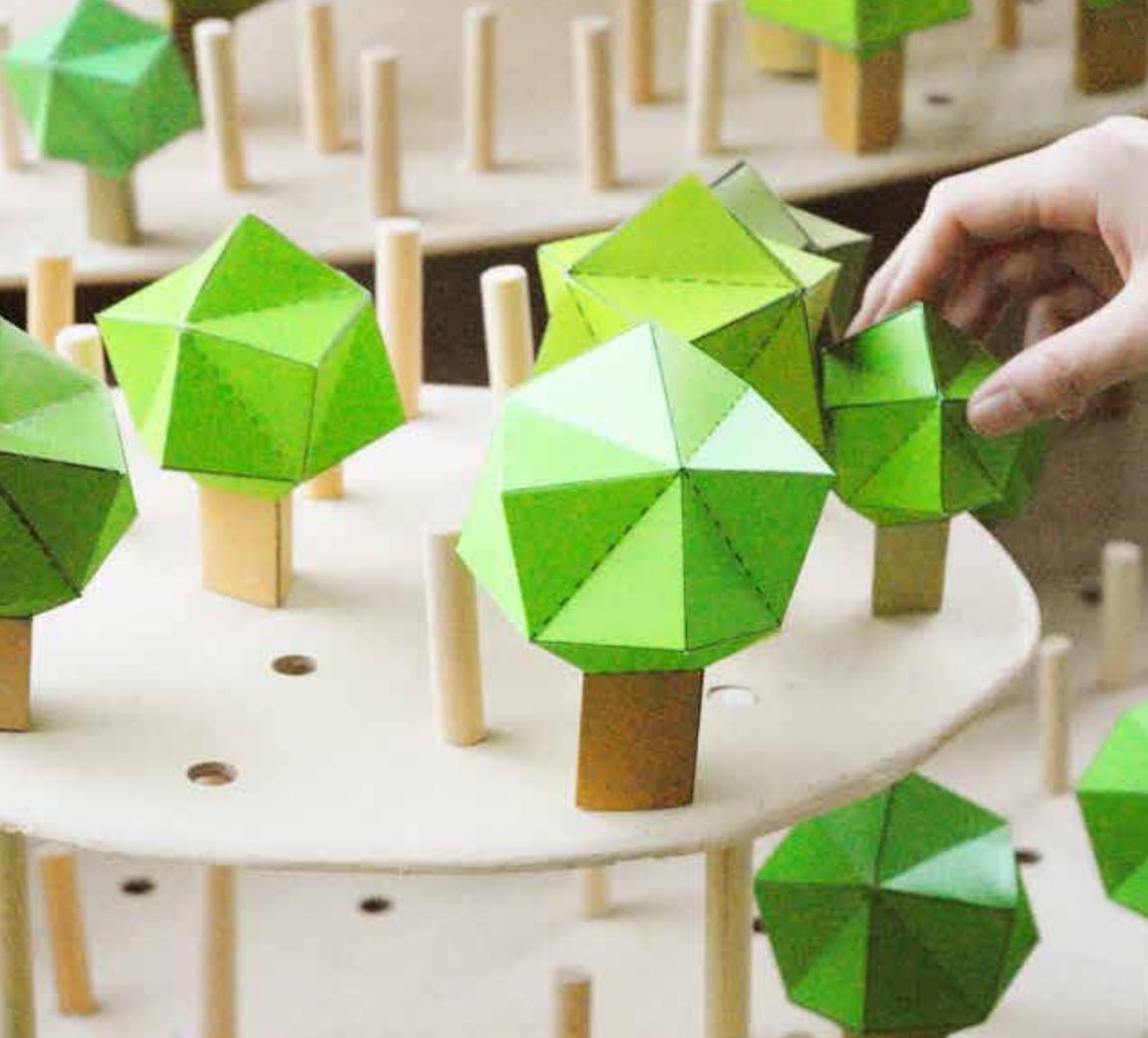
出演/長井江里奈、北園優、  
鈴木綾香、ニシハラ☆ノリオ

場所/小牧市市民会館 大ホール  
時間/14:00 開演(13:45 開場)  
料金/一般 1,500円 高校生以下 無料(要整理券)  
<アートフレンド会員>  
一般 1,200円 高校生以下 無料(要整理券)  
チケット発売/12月13日(金)



# 『やさしい美術』 の取り組み

いのちに寄り添い、個と個をつなぐ



「森をつくるおりがみ morigami(もりがみ)」デザイン: 谷崎由紀子

## 医療とアートの双方向的な コミュニケーション

医療とアートの協働プロジェクト『やさしい美術』は、2002年に名古屋造形芸術大学および短期大学(現・名古屋造形大学)の学生有志と卒業生によって発足しました。17年が経過した現在も、病院利用者や医療スタッフ、地域住民とのアートを介したコミュニケーションを継続的に進めています。

「知人の紹介で豊田市・足助病院の早川院長にお会いして、プロジェクトの構想をお話しすることが始まりでした。病院に絵画やオブジェを寄贈するといった従来の一方通行的なコミュニケーションではなく、病院と大学が一緒に何かできないか、という提案をしました」

そう語るのは、プロジェクトディレクターで名古屋造形大学教授の高橋伸行先生。しかし、その時点でプロジェクトの内容はまったくの白紙だったといいます。「対話を進めるうちに早川院長から出てきたのが『この病院は、地域の人が最も多く集まる場所』という言葉でした。そこから『地域』と『個』というキーワードが浮かび上がり、コミュニケーションとしての病院を、より開かれたものにするお手伝いができるのではないかと、という可能性を感じるようになりました」



「にぎにぎ～触れる彫刻～」制作: 鈴木達生



①人と人が触れ合うことに注目し、制作された『にぎにぎ～触れる彫刻～』。ドクターやナースに入室なヒアリングを行い、緩和ケア病棟に入院されている方が痛みを感じにくい、心地よいと思えるにぎり心地が検証された。ひとりでのぎるのではなく、手渡した人と受け取った人が二人でにぎり合うことで伝わる温もりや感情を改めて知ってほしい、というメッセージが込められている。

②③④小牧市民病院のほか、これまでに愛知県厚生連足助病院、新潟県立十日町病院との連携プログラム「やさしい家」や、発達センターちよだなどでの作品展示やワークショップを実施。



## 見て、触れて、 感じてもらう

### 『小牧市民病院での取り組み』

病院利用者へのインタビュアーや院内の見学、地域でのフィールドワークなどからインスピレーションを得て、学生たちが作品を制作。院内に設置し、病院利用者だけでなく、医療スタッフや地域住民にも見て、触れて、感じてもらう。そんな『やさしい美術』の取り組みが小牧市民病院でスタートしたのは2004年のことでした。以降、現在に至るまで、病院の緩和ケア病棟や化学療法室には様々な作品が展示され、入院する患者さんやお見舞いに来た人たちの気持ちをそっと和らげています。

「たとえば『にぎにぎく触れる彫刻』は、緩和ケア病棟に入院されている方の手や皮膚の感覚、痛みの感じ方などをドクターやナースに詳しくヒアリングすることから生まれた作品です。美術表現は一般的に不特定多数の人に見てもらうことを想定していますが、この取り組みでは届けたい相手が特定されています。個と個の結びつき」という視点は、従来の美術表現ではあまり重視されなかったものから、そういう意味でも特殊な表現活動と言っていると思います。」

## 『木』から『森』そして 『山』へ

小牧市民病院での印象深い取り組みとして、高橋先生がもうひとつ挙げたのが『森をつくるおりがみ morigami』。山折り・谷折りのガイド線に従って折るだけで、簡単に折り紙の『木』ができてあがる。その手のひらサイズの木を、院内に設置された雑壇に植え込むことで『森』ができる。さらに増えれば『山』ができる。「誰もそんなことはやってくれないのでは？」という意見が多く、半信半疑で始めたこの取り組みでしたが、始まってみると好評で、1ヶ月後には立派な『山』ができあがりました。

「折り紙を折ることは、祈りを捧げることに似ているのだと思います。入院されている方はもちろん、そのご家族や職員さんも進んで参加してくださり、折り紙にメッセージを書き込んでくれる人まで現れました。小牧から始まったこの取り組みはその後、他の施設でも実施されるようになり、一層の広がりを持たせてくれるものになりました」  
現在は小牧市民病院と足助病院のほか、



小牧市民病院の2階検診センター渡り廊下に設置された『森をつくるおりがみ morigami』(2008年)。折り紙の木で森を育む参加型の作品で、木を植える雑壇は薄い板材にダボを差し込んで作られている。設置1ヶ月後にはすべてのダボに木が植えられた。病院側からのリクエストにより、2009年の秋からは紅葉バージョンも。現在は小牧市民病院以外の様々な施設で実施され、『やさしい美術』の代表的な取り組みとなっている。

十日町病院(新潟県十日町市)、  
国立ハンセン病療

養所である大島青松園(香川県高松市)、  
発達センターちよだ(名古屋市)、老人福祉センターぬくもりの里(豊田市)などで継続的な活動を行う『やさしい美術』。小牧市民病院の新病棟建設に合わせ、2020年2月にはこれまでの作品や取り組みを振り返る企画展として『共振の術(すべ)ーやさしい美術の取り組みー』が小牧市まなび創造館市民ギャラリーで予定されています。

医療とアート。異分野である両者の協働が、これからの時代にどのような意味を持つのか。それを確かめるためにも、同展に足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

## EVENT

2020.2.3(月)~2.9(日)

やさしい美術・企画展

『共振の術(すべ)』

ーやさしい美術の取り組みー

場所/小牧市まなび創造館 市民ギャラリー (ラビオ4階)  
時間/10:00~18:00

2004年以降、小牧市民病院に展示された数々の作品との“再会の場”として用意される企画展。最終日の2月9日(日)15:00より、高橋伸行先生を講師にトークイベントも開催されます。



## 名古屋造形大学 高橋伸行教授

1967年生まれ。愛知県立芸術大学大学院彫刻科修了。実兄の入院する病室に自身の絵を飾った経験から、医療とアートの関係性を模索するようになる。2002年に『やさしい美術』プロジェクトを開始。ディレクターとして全国の医療・福祉施設での作品展示やワークショップに取り組みほか、東日本大震災支援として仮設住宅の表札や仮設店舗の看板制作、公園モニュメントの制作などにも携わる。2013年には国立ハンセン病療養所 大島青松園の入所者で表現者である鳥栖喬(とすたかし)の名を襲名。瀬戸内国際芸術祭2016にて彼の遺した写真やドローイングを用いたインスタレーションを展開している。

# もっと知りたい、 たがた 田縣神社のこと。 豊年祭のこと。

いまや「天下の奇祭」として世界的にその名を知られるようになった、田縣神社の豊年祭。しかし、どんな人たちが祭に関わり、どんな役割を担っているのかは意外と知られていません。ここでは、豊年祭において中心的役割を果たす「宮司」「男莖師(おわせし)」「厄男」の御三方に、来年の祭へ向けた思いなどを語っていただきます。

田縣神社  
豊年祭  
毎年  
3月15日  
開催



## 田縣神社の豊年祭って？

田縣神社にまつられている神様は、御歳神(みとしのかみ)と玉姫命(たまひめのみこと)。それぞれ五穀豊穡と子孫繁栄の守護神として知られています。この田縣神社で毎年3月15日に行われている豊年祭は、槍で彫られた大男莖形(おおおわせがた)／男性の生殖器をかたどったお供え物を42歳の地元の厄男たちが御輿にのせて担ぎ、定められた御旅所(おたびしょ)から行列を組んで進み、神社の本殿に奉納。その年が豊かな一年になることを宮司とともに祈願する神事です。近年は「天下の奇祭」として、国内各地からはもちろん、海外からも多くの観光客が訪れます。

田縣神社宮司 粟田 孝浩さん

## 祭とは本来、 おごそかなものです



私はここ田縣神社で10年ほど宮司を務めており、豊年祭を含むすべての神事に関わっています。国内外のメディアから様々な取材を受けており、特に印象に残っているのが、数年前に受けたフランス国営放送による取材です。3時間近く話し込み、最後は「今後の日本でますます大きな課題になるであろう食育や少子化に、これほどまでに真っ直ぐ向き合った祭はない。今後何があっても続けてほしい」と激励されました。言われてみればその通りで、豊年祭ほどシンプルに、原始宗教的な形で神事を続けているケースは現代でほとんど見かけません。大男莖形(おおおわせがた)は五穀豊穡と子孫繁栄のシンボルであると同時に、平和のシンボルです。これを見て喧嘩を始める人はまずいでしょう。祭とは本来、おごそかなものです。はじめを外して大騒ぎするのではなく、純然たる神



事として素朴に執り行われるべきだと私は思っています。豊年祭も毎年、大男莖形の奉納の際にはかなりの賑わいを見せますが、一方でそこには常に神聖な雰囲気がい、見る者と参加する者の心を清めます。まだ見たことがないという方には、ぜひ一度現場の空気を体感してほしいと思います。



# 男 葦 師

男葦師 朝隈 光男さん

## “戻る”感覚 大工から男葦師に



私は普段、大工の棟梁をやっています。10年ほど前に縁あって男葦師として豊年祭に関わるようになりました。五穀豊穡と子孫繁栄を象徴する大男葦形は神社へのお供え物ですから、毎年新しいものを彫って奉納するんです。

豊年祭に先立ち、「斧入祭」(おのいれさじ)が執り行われます。これは大男葦形の素材となる長さ2.5メートル、300キログラムを超える切り出した木首檜(ぎそひのき)に、斎斧(いみおの)という神聖な斧で最初のひと彫りを行う神事です。実作業はその翌日から神社境内の作業場で始まり、当日に間に合うように彫り進めていきます。作業の進めかたは代々の男葦師によって異なりますが、私は自分にプレッシャーをかけて追い込むために、彫る姿を公開しています。また、檜は柔らかいので、少し間違えるだけで欠けてしまいますから、慎重に彫らなければなりません。

私が男葦師として目指しているのは、とに



かく美しい男葦形を彫ること。参加者が好んで担ぎたくなるもの、皆さんが見て喜ぶものをつくりたいと願いながら、毎年彫っています。

一年の大半を大工として生活していますが、豊年祭が近づくと自分が男葦師に“戻る”という感覚があります。豊年祭は、私にとってそれぐらい重要な、人生の中心にある行事です。これからも声をかけていただける限り、男葦師としての技を磨いていきたいと思っています。



豊年祭実行委員会 会長 鷲見 浩和さん

## 厄男たちのパワーと情熱を その場で感じてほしい



それだけに、前厄の41歳になった昨年、いきなり声をかけられたときは驚きました。「え、僕らが担ぐの?」という感じで戸惑いましたし、やり切る自信もありませんでした。しかし地元に住む男性で、しかも前厄・本厄・後厄の3年間しか参加することができない貴重なものだから、この機会に全力で取り組んでみることにしました。

いまや世界中から人々が訪れる有名な祭に御輿の担ぎ手として参加できることは、この上ない喜びです。御輿を担ぐ厄男たちのパワーと情熱は、祭に参加しなければ実感することができません。そして一度それに触れると「絶対来年もこの場にいたい」と多くの人が感じるはず。当日まで残すところ5ヶ月を切り、実行委員としても少しずつ忙しくなってきました。まだ行ったことがないという方は、ぜひとも来年3月15日に田縣神社にいらしてください。



僕の通っていた味噌小学校は、祭の当日は午後から休みだったこともあり、豊年祭は、毎年欠かさず見てきました。ただ、両親が小牧の人ではなかったこともあり、祭にどんな人が参加しているのか、どんな人が御輿を担いでいるのかといった詳しいことはずっと知らないままでした。



多くの人が感じるはずです。当日まで残すところ5ヶ月を切り、実行委員としても少しずつ忙しくなってきました。まだ行ったことがないという方は、ぜひとも来年3月15日に田縣神社にいらしてください。

# 厄 男

# 落語

# 桂宮治

# 神田松之丞

# 講談



駒来落語会

二人会

Kanda  
Matsunojo  
Message

個性の違う二ツ目による二人会が、  
小牧で実現!

Katsura  
Miyaji  
Message

小牧はたぶん今回が初めてですが、スパー二ツ目にしてサービス精神旺盛の宮治兄さんが一緒なので心強いです。講談は日本人が昔から愛してきた物語の集大成です。ドキドキやハラハラなど、いろいろな感情が古典談義には詰め込まれています。駒来落語会の常連さんから「落語と講談ってどう違うの?」という初心者の方まで楽しんでもらえるよう、頑張ります!

落語家の桂宮治さんと講談師の神田松之丞さんが、2020年1月に二人会を北里市民センターで開催します。『笑点』の若手大喜利や独演会「宮治本舗」が人気の宮治さんと、講談人気の立役者にして真打昇進直前の松之丞さん。個性のまったく違う二人の芸を、じっくりお楽しみください。

小牧には昨年から、小学校のアウトリーチでうかがっています。スレていない素直な子が多くて、小唄や手ぬぐい・扇子を使った仕草の体験にも積極的に参加してくれて、こちらが楽しませてもらいました。今回は、付き合いの長い松之丞さんと二人会ということで、真打の師匠方に負けないような二ツ目の本気を見せます!会場でお待ちしております。

2020.1.19(日)  
駒来落語会  
桂宮治 神田松之丞  
二人会

### 神田 松之丞(かんだ まつのじょう)

1983年東京生まれ。2007年11月、3代目神田松鯉に入門し、2012年に二ツ目昇進。独演会のチケットを即日完売する講談界の旗手として、テレビ朝日『お願い!ランキング』内「太田松之丞」などにも出演している。2020年2月に真打に昇進、6代目神田伯山を襲名予定。

場所/北里市民センター 講堂  
時間/15:00開演(14:30開場)  
料金/一般 3,000円 U25 1,000円  
アートフレンド会員  
一般 2,500円 U25 800円

### 桂 宮治(かつら みやじ)

1976年東京生まれ。2008年3月、桂伸治門下として浅草演芸ホールにて初高座。2012年に二ツ目昇進。伸治師匠の教え「その日の一番になれ」をモットーに日本全国で数多くの高座をこなす一方、日本テレビ『笑点』の若手大喜利に出演するなど、幅広く活躍している。



こまき市民文化財団  
舞台芸術コーディネーター  
林 真智子

# 舞台芸術で 人をつなぐ 地域をつなぐ



小牧市の文化創造・発信を専門とする組織としてこまき市民文化財団が設立され、3年が経ちました。皆さんのお手元に届くチラシなどで「主催（一財）こまき市民文化財団」という表記を目にしたことがある方もいらっしゃるのでは…。財団が主催する公演の内容はどのように考えられているか、舞台芸術コーディネーターに話を聞きました。

## 舞台芸術の魅力とは…

舞台芸術の最大の魅力は、生で観る、聴く、体験することです。これまで東京、神奈川、名古屋と約20年、演劇とダンスを中心に企画制作に携わってきました。どの地域でも変わらないことは、芸術に触れると人の表情や雰囲気が大きく変わることです。もちろん明るく変わるだけではなく、時には難しい顔をして劇場から出ていらつしゃることもあります。それでも、人が「感じる喜び」を味わうことに、音楽を聴く、演劇を観るといった舞台芸術はとても大切な役割を果たしていることを痛感してきました。

## 公演の内容を 考えるにあたって…

舞台公演は、「新鮮なおもしろさ」を提

供することができる作品を招致したいと考えています。観た後すぐにはよく分からず、それでも心の中に残るような、家に帰った後も、その公演について話したくなるようなものを企画できればと思っています。このような作品を見つかるために、舞台公演に関する情報はくまなくリサーチし、可能な限り足を運んで直接作品に触れ、「これを小牧の皆さんに紹介したい」というものを取り入れています。

また、小牧で驚いたことのひとつに「中部フィルハーモニー交響楽団」というプロのオーケストラがあるということ。これは全国的にも珍しく、贅沢なほどにクラシックコンサートが充実していると感じます。今後は新たに演劇やダンスなどのジャンルも取り入れ、多彩な舞台芸術の面白さ、楽しさを紹介していきたいと考えています。

## 特に力を入れて いきたいことは…

子どもを対象にした企画に力を入れていきたいと考えています。大人に比べて経済力や行動範囲に限りがある子どもたちには、広く平等に文化芸術に触れる機会を作りたい。舞台公演はもちろんのこと、アーティストと一緒に小中学校などへ出向き、子どもたちと出会う「アウトリーチ」も増やしていきたいと考えています。ダンサーや俳優といったアーティ

ストは、語弊を恐れずに言うと「少し変わった大人たち」です。「変わっている」というのは「見たことがない、出会ったことがない」ということかもしれません。変わった大人であるプロのアーティストと時間や空間を共有することで、「表現の種類は人の数だけある」ということを楽しみながら伝えることができればいいなと思っています。また、「人の数だけ」という言葉には、国籍の違いや障がいの有無なども含まれます。真に多くの人に文化の扉を開き、その種まきをし、文化で人と人をつなぐことを一つの大きな目標にしたいと考えています。

## 今後予定している公演

少し先の話になりますが、来年度のラインナップの計画も進めています。演劇やレクチャー、ワークショップに市民参加型の公演など、盛りだくさんの予定です。普段感じるのは、小牧には歴史があること。歴史があるということは、この街に愛着がわくような場所やエピソードがたくさんあるということです。そういった小牧の魅力を取り入れながら、小牧ならではの舞台公演も展開していきたいと考えています。

財団は今、ようやく歩き出したところです。より多くの小牧の皆さんと一緒に、文化を通した豊かな日常を作る一端を担って行きたいと思っています。

# こまぶん!

ピアニスト／指揮者  
前田陽一朗さん



## 「やりたいものは やりたい」の精神で、ピアノと指揮の “二刀流” を実践。

小牧出身の前田陽一朗さんは、名古屋市立菊里高校音楽科から東京藝術大学器楽科を経て、桐朋学園大学大学院演奏研究科を修了。現在は東京を拠点に、各地で演奏活動を行っている気鋭のピアニスト／指揮者です。

「ピアノとの出会いは、幼稚園の年長の頃です。引っ込み思案な僕を心配した母に連れられ、音楽教室に通うようになったことがきっかけ

でした。最初は乗り気ではなかったのですが、ひとりで楽譜を読み解いて練習するのが性格に合っていたのか、すぐにピアノが好きになりました。実はその頃から漠然と、将来はピアニストになりたいと思っていたんです」

「客観的に考えればどっちかに専念すべきだと思うのですが、『やりたいものはやりたい』の精神で取り組んでいます。現在は年に何度かオーケストラで指揮をさせてもらっています」

「客観的に考えればどっちかに専念すべきだと思うのですが、『やりたいものはやりたい』の精神で取り組んでいます。現在は年に何度かオーケストラで指揮をさせてもらっています」

「客観的に考えればどっちかに専念すべきだと思うのですが、『やりたいものはやりたい』の精神で取り組んでいます。現在は年に何度かオーケストラで指揮をさせてもらっています」

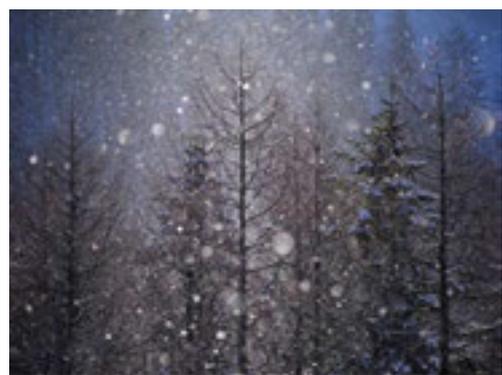
「客観的に考えればどっちかに専念すべきだと思うのですが、『やりたいものはやりたい』の精神で取り組んでいます。現在は年に何度かオーケストラで指揮をさせてもらっています」



2020.2.1(土)  
こまきアーティストシリーズ Vol.1  
前田陽一朗ピアノリサイタル  
会場：東部市民センター 講堂  
チケット発売/11月8日(金)  
料金/一般 500円  
アートフレンド会員 300円

## 文化の 守り人

小牧市写真連盟 会長  
加藤 晶三さん



小牧市内の様々な写真グループの交流をはかるために設立された小牧市写真連盟。毎年、5月の総合文化祭では会員の作品展、10月の市民美術展では常任委員や運営委員を担当するほか、市民病院や市公民館ロビーでの会員作品の常設展示、夏休み子ども文化体験教室への参加など、幅広い活動を展開されています。

「撮ること自体は簡単ですが、鑑賞されるための写真」を撮ることは、そう簡単ではありません。鑑賞する人に驚きや感動を伝えるものでなければならぬため、風景写真では早朝

「写真は間口の広い世界です。多くの方がスマホやコンパクトデジカメで日々の出来事を当たり前のよう撮影しています。その中で写真の面白さに気づいた方は、一眼レフカメラや大型のミラーレスカメラ、交換レンズなどを揃え、美しい風景やお祭りなどを撮影するようにになります。道具を持てますから、定年退職するまで趣味を持たなかった方にも人気があります」

「写真は間口の広い世界です。多くの方がスマホやコンパクトデジカメで日々の出来事を当たり前のよう撮影しています。その中で写真の面白さに気づいた方は、一眼レフカメラや大型のミラーレスカメラ、交換レンズなどを揃え、美しい風景やお祭りなどを撮影するようにになります。道具を持てますから、定年退職するまで趣味を持たなかった方にも人気があります」

「写真は間口の広い世界です。多くの方がスマホやコンパクトデジカメで日々の出来事を当たり前のよう撮影しています。その中で写真の面白さに気づいた方は、一眼レフカメラや大型のミラーレスカメラ、交換レンズなどを揃え、美しい風景やお祭りなどを撮影するようにになります。道具を持てますから、定年退職するまで趣味を持たなかった方にも人気があります」

「写真は間口の広い世界です。多くの方がスマホやコンパクトデジカメで日々の出来事を当たり前のよう撮影しています。その中で写真の面白さに気づいた方は、一眼レフカメラや大型のミラーレスカメラ、交換レンズなどを揃え、美しい風景やお祭りなどを撮影するようにになります。道具を持てますから、定年退職するまで趣味を持たなかった方にも人気があります」

「写真は間口の広い世界です。多くの方がスマホやコンパクトデジカメで日々の出来事を当たり前のよう撮影しています。その中で写真の面白さに気づいた方は、一眼レフカメラや大型のミラーレスカメラ、交換レンズなどを揃え、美しい風景やお祭りなどを撮影するようにになります。道具を持てますから、定年退職するまで趣味を持たなかった方にも人気があります」



### 夏の思い出

こまき市民文化財団ではこの夏、約120(!?)のイベントを開催しました。なかでも、8月25日に開催した「こまぶんフェスタ」では小牧市市民会館大ホールでのコンサートやワークショップ等に約3,000名を超えるお客様にご来場いただきました。心よりお礼申し上げます。この先もまだまだ楽しい事業が目白押しです！皆さまのお越しをお待ちしております。

◀総勢100名を超える名古屋芸術大学の皆さんと財団スタッフでの記念写真。ご協力ありがとうございました。

11月

11月17日(日)  
市民舞台芸術祭「おとぎ話大戦 ～不思議の国の桃太郎～」  
出演:小牧市ジュニア演劇クラブ 会場:北里市民センター (演劇)  
時間/14:00開演(13:30開場) 料金 無料(整理券不要)

11月23日(土・祝)  
BS-TBS日本名曲アルバムのJスコラーズが贈る  
『聴きたい! 思い出の  
昭和歌謡名曲コンサート』 (コーラス)  
会場:東部市民センター  
時間/15:00 開演 (14:30 開場) 好評発売中  
料金 一般/2,500円 U25(25歳以下)/1,000円



©BS-TBS 日本名曲アルバム

11月24日(日)  
中部フィルハーモニー交響楽団金管アンサンブルによる (クラシック)  
0歳からの家族で楽しむクラシックコンサート♪  
会場:味岡市民センター  
時間/午前の部11:00開演(10:30開場)  
午後の部14:00開演(13:30開場) 好評発売中  
料金 親子券:2,000円(大人1人につき0~12歳以下のお子様何人でも可、ただし同一家族内に限る)  
大人券:1,000円(大人1人追加につき) 学生券:500円(中学生~大学生)



12月8日(日)  
第42回小牧民謡まつり (民謡) 会場:市民会館 主催:民謡連盟

12月14日(土)  
中部フィルハーモニー交響楽団 (クラシック)  
小牧特別演奏会「こまき第九2019」  
会場:市民会館  
時間/15:00 開演 (14:15 開場) 好評発売中  
料金 プラチナ席/5,300円 S席/4,300円  
A席/3,300円 B席/1,800円  
学生席/1,000円(公演当日取扱い) ※25歳以下



©Katsuhiko Kimura

©Rowland Kirishima

12月15日(日)  
市民舞台芸術祭「幽霊魔窟、午前二時。」 (演劇)  
出演:こまき演劇サークル エチュード 会場:東部市民センター  
時間/14:00開演(13:30開場) 料金 無料(整理券不要)

12月  
合同撮影会作品展 (展示) 会場:まなび創造館 主催:写真連盟

1月11日(土)・1月12日(日)  
第70回記念書き初め大会 (展示)  
会場:1月11日(土)篠岡小学校・1月12日(日)小牧小学校 主催:書道連盟  
料金 800円  
作品展/1月22日(水)~26日(日) 会場:まなび創造館

1月19日(日)  
駒来落語会(落語・講談) (伝統芸能)  
桂宮治 神田松之丞 二人会  
会場:北里市民センター  
時間/15:00 開演 (14:30 開場)  
料金 一般/3,000円 U25(25歳以下)/1,000円



⇒特集7ページ

1月25日(土)・26日(日)  
こまなびフェスティバル2020 (生涯学習)  
会場:市民会館・市民館 時間/25日11:00~16:00 26日10:00~16:00

1月26日(日)  
市民舞台芸術祭「まるまんま!!」 (演劇)  
出演:演劇グループ らいおんママ 会場:東部市民センター  
時間/14:00開演(13:30開場) 料金 無料(整理券不要)

2月1日(土)  
こまきアーティストシリーズVol.1 (クラシック)  
前田陽一朗ピアノリサイタル  
会場:東部市民センター  
時間/14:00 開演 (13:30 開場) チケット発売/11月8日(金)  
料金 一般/500円

⇒特集9ページ

2020  
2月

2月3日(月)~2月9日(日)  
やさしい美術・企画展  
『共振の術(すべ)  
ーやさしい美術の取り組みー』 (美術)  
会場:まなび創造館 市民ギャラリー  
時間/10:00~18:00  
トークイベント/2月9日(日) 15:00~  
料金 無料



⇒特集3~4ページ

2月9日(日)  
第43回民踊まつり (民謡) 会場:市民会館 主催:民謡協会

2月9日(日)  
初謡会 (謡曲) 会場:勤労センター 主催:謡曲連盟

2月15日(土)  
中部フィルハーモニー交響楽団  
第69回定期演奏会 KOMAKIシリーズ② (クラシック)  
会場:市民会館  
時間/15:00 開演 (14:15 開場)  
発売予定日/11月8日(金)  
料金 プラチナ席/5,300円 S席/4,300円  
A席/3,300円 B席/1,800円  
学生席/1,000円(公演当日取扱い) ※25歳以下



©Shigeto Imura

2月23日(日・祝)  
市民舞台芸術祭「小牧山ファンタジア」 (演劇)  
出演:ミュージカル劇団スパーク 会場:味岡市民センター  
時間/1回目 11:30開演(11:00開場)  
2回目 15:00開演(14:30開場)  
料金 無料(整理券不要)

2月  
初舞の会 (日本舞踊) 会場:勤労センター 主催:日本舞踊協会

3月7日(土)  
公共ホール現代ダンス活性化事業 (コンテンポラリーダンス)  
山猫団『小さな牧のサーカス』  
会場:市民会館  
時間/14:00 開演 (13:45 開場)  
チケット発売/12月13日(金)  
料金 一般/1,500円 高校生以下無料(要整理券)



©Nitta Sayaka

⇒特集1~2ページ

3月9日(月)~3月15日(日)  
臨書展 (書道) 会場:まなび創造館 主催:書道連盟

3月28日(土)  
中部フィルハーモニー交響楽団(POPSコンサート2020)  
【中部フィル×藤澤ノリマサ】 (クラシック)  
会場:市民会館  
時間/15:00 開演 (14:15 開場)  
発売予定日/12月6日(金)  
料金 S席/5,000円 A席/4,000円



3月29日(日)  
米村でんじろうサイエンスショー  
おもしろ科楽館 (サイエンスショー)  
会場:市民会館  
時間/①13:00 開演 (12:30 開場)  
②15:30 開演 (15:00 開場)  
発売予定日/1月17日(金)  
料金 前売/2,800円 当日/3,300円



ロビーコンサート

毎月第1日曜日(1月は第2日曜日)開催  
ふれあい音楽広場  
会場:味岡市民センター ロビー 時間/12:15~12:50 出演:ポルタメント小牧

11月23日(土・祝)・12月22日(日)開催  
市民会館ロビーコンサート  
会場:11月23日(土・祝)小牧市公民館 展示ロビー 時間/12:10~13:00  
12月22日(日)小牧市市民会館 ホールロビー

メナード美術館

2019年10月4日(金)~12月22日(日)  
メナード美術館  
コレクション名作展 2019  
※11/5に一部展示替を行います



アンドレ・ドラン  
(イール=ド=フランス風景)  
1904~05年  
メナード美術館  
初公開コレクション

2020年1月2日(木)~3月8日(日)  
所蔵企画展  
額縁のむこうの音楽 —そこにはどんな音が聴こえるのか?  
※2/3に一部展示替を行います

メナード美術館 情報  
[開館時間]10:00~17:00(最終入館は16:30まで)  
[休館日]月曜日(ただし11/4、1/13、2/24は開館)、11/5・1/14・2/25(各火曜日)  
[入館料]一般 900円 高大学生 600円 小中生 300円  
[お問い合わせ]メナード美術館 [電話]0568-75-5787



こまき市民文化財団

## チケット購入方法

### インターネット

・財団ホームページから予約・購入 <http://www.komaki-bunka.or.jp>  
チケットの引き取りは市内各販売窓口、セブン-イレブンから選べます。

### 窓口でのチケットのお求め

下記の5か所に販売窓口がございます。※施設により開館時間、休業日が異なります。

- ・市民会館  
[受付時間] 9:00～20:00 ※月曜休館 [住所] 小牧市小牧2丁目107
- ・東部市民センター  
[受付時間] 9:00～17:00 ※月曜休館 [住所] 小牧市篠岡2丁目23
- ・味噌市民センター  
[受付時間] 9:00～17:00 ※月曜休館 [住所] 小牧市久保新町60
- ・北里市民センター  
[受付時間] 9:00～17:00 ※月曜休館 [住所] 小牧市下小針中島2丁目130
- ・まなび創造館 ※月曜日はチケットのお取り扱いはできません。  
[受付時間] 9:30～17:00 ※第3火曜休館 [住所] 小牧市小牧3丁目555

### 電話予約

・こまき市民文化財団 TEL:0568-71-9700  
[受付時間] 9:00～17:00 ※月曜日定休 [住所] 〒485-0041 小牧市小牧2丁目107

### チケットぴあ

- ・チケットぴあ店頭購入  
コンビニエンスストア(セブン-イレブン)  
ぴあのお店で直接ご購入いただけます。(別途発券手数料がかかります)
- ・チケットぴあ電話予約  
TEL:0570-02-9999 [受付時間] 24時間受付(Pコードが必要です)  
※お支払い、お受け取り方法などの詳細については、チケットぴあに直接お問い合わせください。  
なお、チケットぴあでの購入の場合、アートフレンド会員割引等のご利用いただけません。

## 一般財団法人こまき市民文化財団

Facebook @bunka.komaki

HP: [www.komaki-bunka.or.jp](http://www.komaki-bunka.or.jp)

TEL:0568-71-9700 MAIL: [info@komaki-bunka.or.jp](mailto:info@komaki-bunka.or.jp)  
事務局(小牧市市民会館内) 〒485-0041 愛知県小牧市小牧2丁目107  
営業時間: 8:30～17:15  
休業日: 月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

## 〈こまき市民文化財団友の会〉アートフレンド小牧

### (特典) チケットの先行予約販売&チケット料金の割引

財団主催事業(市民会館、各市民センター、まなび創造館で実施する舞台公演事業等)のチケットが対象となります。※一部を除く

チケット料金	1,000円以下	1,000円超～2,000円未満	2,000円以上
割引額	200円引き	300円引き	500円引き

### その他(特典)

・ご自宅に情報誌やイベントのご案内をお送りします。

### 会員の種類と年会費

プレミアム会員	スタンダード会員	メール会員
年会費 <b>1,500円</b> 先行予約・割引購入は 2枚まで	年会費 <b>1,000円</b> 先行予約・割引購入は 1枚まで	年会費 <b>無料</b> 先行予約・割引購入なし 最新の情報をお届けします

会員期間は入会日から1年後の月末までとなります。  
例) 2019年4月15日の入会の場合、2020年4月30日まで

### 申し込み方法

Webから〉 こまき市民文化財団ホームページから、ご希望の会員を選択し、必要事項を入力してご登録ください。お支払方法は、窓口・クレジットカード決済、セブン-イレブン決済、銀行振込決済からお選びいただけます。入金確認後、会員証、規約などをご登録のご住所にお届けします。

窓口にて〉 市民会館、各市民センター、まなび創造館の各窓口で、入会申込書と年会費を添えてお申込みいただくと、その場で会員証を発行いたします。

### チケット予約・購入は財団HPから!

- いつでも買える
- 支払方法を選べる
- スマホ・パソコンで買える
- 席を自分で選べる



### 交通のご案内

- 電車…名鉄小牧線  
「小牧駅」下車徒歩約10分
- お車…名神高速道路  
小牧ICから国道41号・  
国道155号で約2.5km